

農業と科学

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO. LTD

1988

1

技術を探究して 新しい農業を

チッソ旭肥料代表取締役社長

早水 清



明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様方のご多幸とご発展をお祈りしますと共に、一言ご挨拶申し上げます。

昨年後半、日本経済は、株価大暴落、さらにドル安、円高の加速と止まることのない為替変動を経験いたしました。今年も恐らく当面円高基調は続くでしょうし、そのための輸出競争力のダウン、輸入自由化へ向けての外圧は一層高まって行くと思われます。当然のこと乍ら、肥料業界もその渦中に巻き込まれ、生産面においては、ここ数年設備の廃棄・縮小・合理化に努力して参りましたが、国際競争力の回復賦与もままならぬ程に、来年は肥料二法の期限切れを迎えます。恐らくその存続をめぐる厳しい論議が展開されるでございましょう。一方市場面においても、外からは農産物輸入自由化をめぐる米国からの12品目提訴問題の発生、内からは米価審議会による米麦価引き下げ答申等、農業環境はますます過酷さを増しており、今までに経験したことのない厳しい冬の時代を迎えることが予想されます。

私共はこの厳しい現実を直視し、そしてこの難局を乗り切るため、今こそ従来以上に肥料及び農業に関する技術力・開発力が、重大な意義を持つと痛感致しております。

幸にも当社は、過去において長年蓄積した技術力を基に、特色ある高機能商品…“コーティング肥料”…“LPRコート”と“ロングR”を開発して参りました。現在も引き続き、これらに関連する新商品の研究開発に努力しておりますが、私共は、これらの高機能特殊商品による新しい農業技術の発展…例えば最適施肥法の探究等を通しての新農業技術の展開等…に夢を託して行きたいと思っております。

また、畑作用泡状肥料“あさひポーラスR”・緩効性窒

素肥料“CDUR化成”・樹木打込用肥料“グリーンパイルR”・パーミキュライト床土用資材“与作R”等についても、これらの特徴を活かした新技術・新分野の探究を続けて参る所存です。

発刊以来、皆様方に親しまれて参りました「農業と科学」もお蔭様で今年20年目を迎えることになりました。

その間、新しい農業栽培技術の紹介を通して、本誌が農業技術の発展にいささかなりともお手伝い出来たことを誇りに思っております。

私共は厳しい激動の時代を迎えるに当たり、農業生産により有効な資材を安定供給する担当者としての自覚を持って、ますますその技術力・開発力の研鑽に努力し、日本の農業発展に貢献して参りたい所存ですので、どうか今年も農業技術雑誌「農業と科学」をご愛顧頂きますと共に、ご執筆等を通してより充実したものに育てたいと頂きたたく、よろしくご指導ご鞭撻の程お願いし、新春のご挨拶といたします。

(以上)

本号の内容

- § 技術を探究して新しい農業を…………… 1
チッソ旭肥料 代表取締役社長
早水 清
- § 岩手県における被覆肥料の実用化試験…………… 2
岩手県庁土壌肥料専技 遠藤 征彦
岩手県農試施肥改善科長 新毛 晴夫
- § 高知県南国市砂質畑における
ハウス果菜類にたいするロング肥料の施用… 6
チッソ旭肥料(株)